

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 光励起を伴わない超高速化学反応計測装置の開発
2. 研究代表者： 片山 哲郎（徳島大学 ポストLEDフォトンクス研究所 助教）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題では、時間分解分光の分野で長年定説となっていた常識を破壊し、ポンプ・プローブ法と単一分子光子統計の概念を組み合わせた新規超高速反応計測装置を開発することを目指している。フェーズ1では、非常に挑戦的かつ高度な測定装置の構築をおおむね順調に進めており評価できる。また構築途中の段階であっても実際の試料の高度分光測定に活用し始めていることも評価できる。フェーズ2では、当該計測装置をシステムとして完成させることを目指す一方で、応用として現実的なターゲットを複数設定しており、プロジェクト全体としてよく練られた計画である。引き続き挑戦的な課題に対して、可能性の探求を継続しながら研究を推進することに期待する。

以上